

一般会計当初予算

263億7,100万円

■特別会計 103億4,829万円 (対前年度比△8.9%)

国民健康保険や農業集落排水事業など事業目的を限定し、保険料や使用料など、特定の収入を特定の支出に充てるため、一般会計と区別した会計です。

会計名	予算額	対前年度比
国民健康保険	49億7,220万円	△19.4%
後期高齢者医療	4億4,780万円	3.2%
介護保険	45億9,375万円	3.9%
農業集落排水事業	1,722万円	△7.2%
宅地開発事業	401万円	△10.9%
あづち大島いさりびの里事業	1,191万円	△3.0%
電気事業	1,501万円	△6.0%
駐車場事業	440万円	同額
工業団地事業	2億8,199万円	1.0%

■企業会計 51億8,255万円 (対前年度比△1.5%)

地方公共団体の行う事業のうち、民間企業のようにその事業の収益で経費を賄って事業経営を行う会計です。

会計名	予算額	対前年度比
水道事業	17億8,601万円	△9.7%
病院事業	27億699万円	△0.7%
交通船事業	6億8,955万円	23.9%

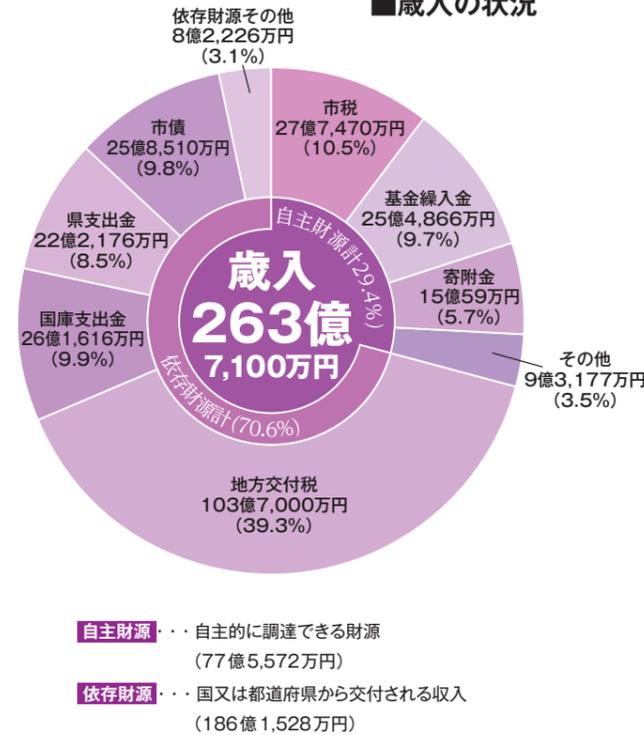
当初予算額の推移(千円)



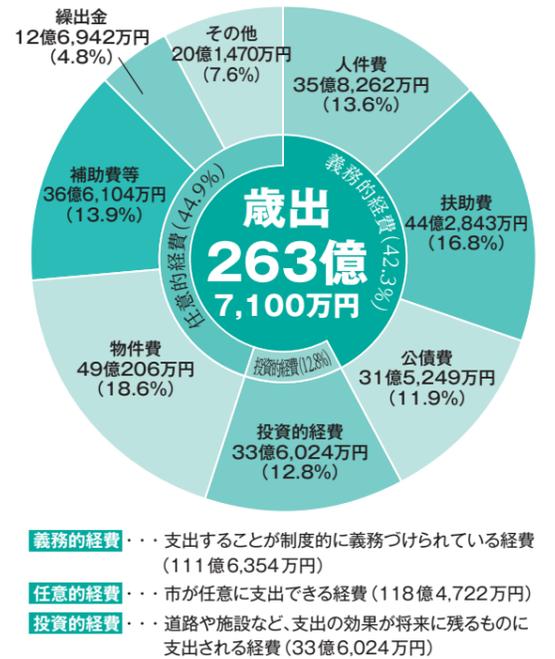
平成27年度に策定した「平戸市総合戦略」に係る事業の積極的展開やふるさと納税の影響により、過去最大の予算規模となった平成29年度と比較すると歳入歳出総額15億2,100万円の減額となり、前年度と比較5.5%のマイナスとなっています。

今後、少子高齢化などに伴う社会保障費の増加や、ニーズの多様化による事業費の増大により、厳しい財政状況が予想されます。平成28年度から始まった交付税減額に対応した取り組みによる財政構造などの転換を図るためにも、新たな経費削減の方法を考えながら、本市の将来を見据えた長期的な展望の中で、市民が満足できるような施策を展開できる行財政の仕組みの構築に向けて取り組んでいきます。

■歳入の状況



■歳出の性質別分類の状況



義務的経費・・・支出することが制度的に義務づけられている経費(111億6,354万円)
任意の経費・・・市が任意に支出できる経費(118億4,722万円)
投資的経費・・・道路や施設など、支出の効果が将来に残るものに支出される経費(33億6,024万円)

市民1人当たりの予算額 82万3,991円

(対前年比3万1,828円の減) ※人口32,004人(平成30年3月1日現在)で計算

総務費 <p>17万8,450円 (対前年度3万6,033円の減) 地域振興やふるさと納税の返礼品など</p>	民生費 <p>21万3,008円 (対前年度4,718円の増) 高齢者や児童の福祉など</p>	公債費 <p>9万8,503円 (対前年度3,004円の増) 借入金の返済</p>	衛生費 <p>8万4,915円 (対前年度1,282円の増) ごみ・し尿処理や病気予防など</p>	土木費 <p>5万7,164円 (対前年度1万727円の減) 道路、住宅の整備など</p>
農林水産業費 <p>5万9,933円 (対前年度719円の減) 農林水産業の振興など</p>	教育費 <p>5万6,716円 (対前年度1,689円の増) 学校や図書館、文化振興など</p>	消防費 <p>2万8,750円 (対前年度2,973円の増) 消防、防災対策など</p>	商工費 <p>3万1,934円 (対前年度7,282円の増) 商工、観光の振興など</p>	その他 <p>1万4,618円 (対前年度5,297円の減) 議会運営、災害復旧など</p>

「各種施策の推進」と「健全な財政運営の確立」の両立を念頭にした予算配分

「第2次平戸市総合計画」の実現に向けて

平成30年度は「第2次平戸市総合計画」の初年度であり、今後の成果に影響する重要な年度であることから「各種施策の推進」と「健全な財政運営の確立」の両立を念頭に、既存事業などの精査・検証を行い、予算の重点化を図りました。

さらに世界遺産登録推進関連事業についても、本年7月の決定に向け重点的に予算配分を行いました。

予算のポイント

歳入については、個人市民税や軽自動車税などの市税が

伸びてはいるものの「やらんば！平戸」応援寄附金(いわゆる「ふるさと納税」)の減少に伴い、自主財源比率は平成29年度と比較すると8.9%減少の見込みとなっています。

歳出については、平戸城再築300周年記念事業および世界遺産登録に向けた推進事業について増加の見込みです。また「やらんば！平戸」応援寄附金の減少に伴う積立金と、物件費(寄附に対する返礼品および普通建設事業の減少に伴い、全体的には減少の見込みとなっています)。

なお、義務的経費の割合は保育料の増加に伴い、42.3%と、平成29年度と比較すると

テーマ3 平戸観光地力向上プロジェクト



平戸城大規模改修事業 … 2億 1,775万円
老朽化している平戸城の乾櫓、狸櫓、北虎口門、北虎口書院、塀の改修

平戸城再築城300周年記念事業 … 1億 2,000万円
平戸城再築城300周年記念にかかるフォーラムおよび夜間イベントの開催

世界遺産登録推進受入環境整備事業 … 1,070万円
世界遺産登録を見据え、周遊バスや商品造成補助などの受入体制の構築を行う

観光人材育成プログラム事業 … 835万円
観光人材の発掘および、観光協会の組織改革に伴うDMOの構築

「第2次平戸市総合計画」に基づく 平成30年度に実施する主な事業



「夢あふれる 未来のまち 平戸」へ向かって

重点プロジェクト

シン・平戸創生プロジェクト

未来を担う人材創出プロジェクト 【シン(伸) 平戸】

もうける農林水産プロジェクト 【シン(進) 平戸】

平戸観光地力向上プロジェクト 【シン(新) 平戸】



重点プロジェクト
はこの3つ!!

平成30年度は第2次総合計画のスタートとして「平戸市が描く未来 — 夢あふれる 未来のまち 平戸」の実現に向け、各種事業に取り組みます。

ここでは、今年度実施する多くの事業の中から「シン・平戸創生プロジェクト」として取り組む主要な事業を紹介します。

その他の主要な新規事業



大島村クリーンセンター(し尿処理) 施設整備事業 … 5,460万円

平成31年からの北松北部クリーンセンターでの広域処理化を見据え、収集運搬の効率化を図るためのし尿処理および、浄化槽の汚泥の一時貯留設備の整備



高齢者いきいきおでかけ支援事業 … 3,486万円

高齢者の外出機会の拡大と社会参加の促進を図るため、タクシーおよびバスなどを利用して移動する費用の一部を助成



中部市民運動場整備事業 … 5,800万円

中部市民運動場のグラウンド暗渠等改修工事



地場企業就職促進事業 … 200万円

市内企業をPRし、若年層を中心とした地元企業就職に繋げる合同企業面談会の開催

テーマ1 未来を担う人材創出プロジェクト



未来を担う人材創出事業 … 500万円

市内高校の魅力の向上などにより定員充足を図り、平戸市の魅力を伝え定住人口の増加を目指す

産地を支える人材確保推進事業 … 142万円

産地の維持・拡大のため、生産部会などと連携して新規就農者を確保・育成する

浜の魅力発信・漁業就業促進総合支援事業 … 153万円

漁業後継者確保のための生活支援および漁業技術力向上のための研修にかかる費用を支援

テーマ2 もうける農林水産プロジェクト



未来を創る園芸産地支援事業 … 3,400万円

施設園芸の省力化のための設備導入等に対する支援

地域重要資源維持・回復支援事業 … 1,000万円

漁業生産を支えるための栽培漁業や資源管理型漁業の推進を行う